

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・先月に続き好天候に恵まれ、観光客数も前年同月比で数%増加している。客の表情は明るく、土産の購入も伸びている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数、客単価とも伸びている。
	やや良く なっている	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量、来客数ともまずまずであり、感触は良くなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の様子を見ると、全体的に購買意欲がある。
		スーパー（店長）	単価の動き	・気候に左右される面もあるが、単価は全体的に上昇している。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・気温が高めに推移しているため、野菜全般が相場安で、買い求めやすくなっている。週末の鍋需要では、肉や魚を中心に順調に売れている。月末のチラシ広告への反応も良く、来客数、売上共に前年同月を上回っている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・好調な自動車関連企業の客や好天気、暖かさが影響し、来客数は増加している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は前年割れであるが、客単価が改善しており、売上は前年を上回っている。特に新商品の動きが好調である。
		コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・岐阜県、三重県内の店舗の売上は伸び悩んでいるが、競争の厳しい愛知県での売上が回復してきている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・新OSの発売前であるが、パソコンがよく売れている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・10月からの新型車投入により、前年同月比100%以上の実績を上げている。ただし、例年は盛り上がる月半ばからの受注が、今一つである。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客の会話には活気があり、良くなりつつある。ただし、自社の売上は、全体として伸び悩んでいる。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・賃貸、分譲マンションの住宅物件が増加している。また、企業の設備投資に伴い、工場やオフィスの新築物件も多い。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	単価の動き	・年末はまだ先なのに、高額商品が動き始めている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は動きが非常に良い。先月は全く兆しもなかっただけに、一月でこれほど変わることに驚いている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月に入り、近隣の企業団地が忙しくなり、休日出勤の会社員の来店が増えている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・暖かいことも影響して来客数は増えており、売上も前年より増加している。団体客が少しずつ増えており、忘年会の予約も順調に入ってきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・例年に比べて、忘年会の予約が件数、人数共に多い。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・旅行取扱量、粗利益とも、前年の1.5倍となっている。職場旅行などの団体旅行をはじめ、募集ツアーの3件も満席になっている。企業、個人とも余裕が出始めている。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	販売量の動き	・販売量が伸び稼働率が高いが、少額物件が多いため、売上は思ったより伸びていない。
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・暖かい日が続き、秋物の動きが遅れている。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・注文需要は戻りつつあるが、飛び込み客の売上がなく、販売量は今一つ伸びてこない。	
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・今月も地元企業が倒産するなど、地場産業の低迷が続いている。当店の収益も4月以降大幅に減少しており、従業員へのボーナス支給や昇給もできないのが現状である。	

一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・相変わらず客単価が低い。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・昼間は客が少なく、暇である。夕方は会社帰りの客が多いが、その割に売上は伸びていない。買い控えがある。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・寒さが本格的でないため、ロングコートなど防寒具の売行きが悪く、ほとんど動いていない。
百貨店（企画担当）	販売量の動き	・気温が下がってきたため、婦人服、紳士服の売上が伸びてきている。お歳暮やクリスマス関連商材も例年以上に好調であり、全体の売上を引っ張っている。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・野菜等が値下がりしており、スーパーの売上はまだまだ良くなっていない。中小企業で働く人が客の大半を占めるため、中小企業の景気が良くなる限り、スーパーの景気も良くならない。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は、相変わらず98%前後で推移している。野菜の安値や暖冬による衣料品の不振が影響している。
スーパー（店員）	来客数の動き	・チラシ広告を出した日や企画日の来客数はかなり増えるが、普段は平日の客入りがあまり良くなく、週末の来客数も減少している。来客数は、前年比95%程度に落ち込んでいる。
スーパー（営業担当）	販売量の動き	・景気はやや鈍化しており、勢いがなくなりつつある。来客数は前年並みで、販売点数は既存店で前年同月比102.7%となっているが、伸び率は低下してきている。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上の前年比は改善傾向にはあるが、100%をクリアできていない。
衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・販売量が増えると単価が下がり、流行品が売れると定番品が売れないような状況である。
衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・暖かい日が続く、婦人服では上着類の動きが悪い。また、高単価商品の動きが悪いため、売上が伸びない。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・季節物の動きは例年並みであるが、テレビなど黒物家電が今一つである。全体としては例年並みか、多少悪い。
家電量販店（店員）	単価の動き	・販売量、客単価とも横ばいである。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数、成約数とも例年並みで、車の大小に関係なく売れている。ただし、客は燃費を始め、維持費への関心が非常に強い。
乗用車販売店（総務担当）	単価の動き	・車の台替え時に小型車化が進んでおり、節約志向は浸透している。
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・愛知万博後の落ち込みを覚悟していたが、前年並みとなっている。ただし、企画物への集客は予想以下で、客は京都へ流れている。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・週末にも比較的来客があるため、稼働率は高くなっている。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・前年同月と比べると、宿泊需要はわずかながら良い。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・企業からの旅行の申込が、今一つ少ない。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・出張などのビジネス客は良いが、旅行客は動いていない。
旅行代理店（従業員）	単価の動き	・お正月旅行を除いて単価が安く、受注しても売上はなかなか増えない。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月前半は天気の良い日が多く、タクシー客はあまり多くなかったが、後半から少し気温が下がり客は増えてきている。また、夜の客も徐々に増えてきている。
タクシー運転手	来客数の動き	・飲酒運転の取締り強化の影響もあまりなく、夜の繁華街の客は増えていない。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・利用料金を値下げしたため、解約数の増加傾向は止まったものの、まだ高い水準にある。新規契約数は、月中旬以降にキャンペーンを行なっていることもあり、通常に戻っている。
通信会社（開発担当）	お客様の様子	・光通信サービスの受注量は予想より少ないが、一定量は保っている。

	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・客はサービスのセット割引など、料金を気にしており、出費を少しでも減らしたいようである。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来場者数の動きは変わらないが、園内施設の忘新年会予約を開始しても、例年ほどの反応は見られない。消費の勢いはあまりない。
	テーマパーク（総務担当）	販売量の動き	・前年と比べて、来場者数は増えているが、売上は減少している。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・客単価の維持のため値引きを抑えているが、入場者数は対目標、対前年とも大きく下回っている。値引きしないと入場者数は増えない。
	理容室（経営者）	お客様の様子	・中小企業で働く客が多く、皆大変である。理容業界でも、理容組合に入らない格安店に客を奪われており、競争が大変である。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	販売量の動き	・介護保険改正の経過措置期間が終了し、レンタル品の返却は収まっている。しかし、受注量は、介護保険改正前と比べて激減している。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・名古屋市を中心に高層賃貸マンションが建築され、賃料が高い部屋から入居が決まっている。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔工務店〕（経営者）	単価の動き	・客の知識が増えており、デザインや設備などの受注は大手のハウスメーカーに流れている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数はほとんど変わらないが、客単価が低下しており、売上は減少傾向である。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・商店街への来客数は激減しており、特に平日客の減少が目立っている。また、客の購買意欲もあまり感じられない。当店の売上は前年同月比で5%ほど減少している。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・衣料品や法人外商の受注が苦戦しており、お歳暮商戦も前年を下回る動きとなっている。
	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・バーゲン品の売行きは好調であるが、高価格帯の季節商材の売行きがやや鈍くなってきている。通常の買物でも、慎重な買物をする客が多い。
	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・気温が高く推移しており、冬物の買い控えがみられる。
	百貨店（外商担当）	来客数の動き	・気温が例年より2～3度高いため、冬物衣料を中心に動きが悪く、来客数も減少している。店外催事の売上は前年を上回っているが、全体的な落ち込みをカバーできていない。
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・大型店の出店が相次ぎ、中小店では売上が減少している。
	スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・新店舗をオープンしたばかりであるが、売上は目標に届いていない。
	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・天気が良く売上が順調な店も多いが、内容的には弁当など主力商品が相変わらず落ち込んでいる。ポーションレーサーなどの企画商品の販売量も、前年に比べて大幅に減っている。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・飲酒運転の取締り強化に伴い、アルコール関係の売上が減少している。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・暖かい日が続いており、セーター、コートなどの商品を見に来る客さえ少ない。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客単価が低下しており、買い控えもある。
	衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・販売量が減少している。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売台数は、業界全体で低迷している。
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・販促活動の結果、宴会予約は増加しているが、一般客の来店が減少している。イベントやフェアに対する客の反応も弱くなっている。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・飲酒運転の取締り強化が始まって以来、遠隔地から来店する客がいなくなっている。
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・いわゆる勝ち組の景気は良いが、普通の卸小売業者の売上や販売量は、むしろ少し減少している。

		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・半年前の宿泊客数は前年比100%を超えていたが、この数か月は98%から今月の81%へと減少傾向にある。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きがやや悪くなっている。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・先月の来客数は多かったが、今月は少ない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来店周期が長くなっており、来客数も減っている。ただし、良い商品は売れている。
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・業界では同業者も含めて、低価格商品しか売れていない。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・年末に向けて休日出勤する人が多いのか、土日の来場者数が減少している。
		住宅販売会社（企画担当）	来客数の動き	・毎月ほぼ一定量のチラシを配布しているが、今月は来客数が特に少なくなっている。
	悪くなっている			
企業動向関連	良くなっている			
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量とも7～8%増加している。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	取引先の様子	・広告の出稿量は、紙媒体、電波媒体とも、増加している。求人広告量も増え続けている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売先のパチンコ業界では、年末に向けて設備投資が若干増加している。
		電気機械器具製造業（企画担当）	競争相手の様子	・年末商戦に向けて、順調に製品投入が行われている。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・新車発表があり、米国向け輸出も増えているため、自動車部品製造業でも受注量は増えている。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・企業の設備投資意欲は、引き続きおう盛である。建設資材の価格が高騰しているが、好景気が要因である。
		建設業（総務担当）	競争相手の様子	・設備投資が盛んに行われている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・一般雑貨の輸送量は、前年をやや上回る。ただし、事業者間の競争が激化しており、運賃は低下傾向である。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・業界では競争が激化しており非常に厳しいが、景気自体は上向きである。
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・業種にもよるが、売上、利益とも増加している顧客が多い。資金繰りが楽になってきているのか、新たな借入れの相談は減っている。	
変わらない		紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量はやや減少傾向にあるが、一定量は確保している。ただし、販売価格の値上げ要請をしているが、現状は据置きになっており、内容はやや厳しい。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・一部機械は相変わらず伸び悩んでいるが、自動車関連業界からの設備投資が順調に受注を伸ばしており、全体では下期の目標をほぼ達成している。
		一般機械器具製造業（販売担当）	受注量や販売量の動き	・北米市場では、設備投資が相変わらず冷えており、ほとんど受注のない状態が続いている。反面、ユーロに対する円安もあり、欧州市場では活発な動きがある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料の電磁鋼板の品不足が続いているが、販売価格への転嫁は非常に難しい状況にある。
		輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・主要取引先からの受注量に、変化はあまりない。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物流量は増加しているが、運転手やパートの人件費の増加で相殺されている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・この3か月間の取扱物量は前年比で100%を超えているが、運賃は低下している。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の経営状況は変わらず、積極的な投資を控えている。受注量も大きな変化はない。

		金融業（従業員）	取引先の様子	・個人事業主では、仕事量は多くても利益が少ない状況が続いている。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・金利が上昇局面にあるためか、個人、法人とも不動産取得需要は引き続き強い。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・大型案件は増えていないが、小型案件は少し増加してきている。
やや悪くなっている		窯業・土石製品製造業（社員）	受注価格や販売価格の動き	・仕事量は前年比でやや減少している程度であるが、売上は15%も減少している。販売価格の低下が影響している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	それ以外	・本業の採算は維持しているが、新規事業への設備投資に伴う償却費と人件費がかさみ、赤字が続いている。
		金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・ステンレス材の異常な価格高騰により、材料確保も含めて厳しい状況にある。
		行政書士	取引先の様子	・原油価格の高騰や排ガス規制もあり、運送業者などの利益は減少している。
		公認会計士	それ以外	・顧問先の中小企業では、採用難のため採用費が高騰したり作業に支障が出る企業が散見される。原材料費の高騰、金利の上昇も、中小企業の収益性を大幅に低下させている。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・穏やかな気候が続き、顧問先企業では季節商材の売行きが良くない。
悪くなっている		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大手企業の設備投資の外部委託が大きく減少した影響で、中小企業の受注量はかなり減っている。
		金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・企業間の競争が激しく、原材料費の値上がりによる販売価格に転嫁することができない。以前に増して収益を圧迫している。
雇用関連	良くなっている			
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣注文は相変わらず多い。ただし、新規の登録人数の伸びが低下傾向にあり、人選がなかなか進まない。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・仕事量の増加に伴う増員求人が増加している。名古屋市中心部では営業、販売、三河地区では自動車関連企業を中心に、求人は前年比130～140%となっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・どの媒体で求人しても反響が悪く、広告出稿減になっている。ただし、建築現場などブルーカラー求人の出稿は好調である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は1.89倍と、前年同月比で0.53ポイントの上昇となり、有効求人者数も前年同月比で36.3%増加している。	
変わらない	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求人数は相変わらず多いが、求職者数が著しく少ない。派遣以外にも求人はかなり多く、求職者の選択肢が増えている。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・一般求人広告件数は横ばいが続いている。製造業の多い静岡県西部は引き続き堅調であるが、観光などサービス業の多い県東部地区は若干減少している。	
	職業安定所（所長）	求職者数の動き	・求職者数、求人数、採用者数とも大きな変動はなく、安定した動きが続いている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は、情報通信業が落ち込むなど3か月前と比べると減少しているが、前年比では増加している。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数は5か月連続で前年比プラスとなっており、企業の人手不足は依然として解消していない。	
	職業安定所（管理部門担当）	求職者数の動き	・完全失業率は4%前半で推移しており、完全失業者数も改善は見られない。	
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・正社員募集が一時期に比べて減少傾向にある。	
悪くなっている				